

『薬局は医療の入口です』

商標登録済

医療の流れを真逆にする、未来の健康チェックビジネス

株式会社エフアンドエフ 代表取締役

藤川 欣洋 さん

『薬局は医療の入り口です』

—— 順調に調剤薬局の店舗数が伸びる中、「健康チェックシステム」はどのようにして生まれたのですか

国が薬局に求める姿も2年毎の法改正で変わる為、同じことをしていたのでは会社の成長はなく、今後の成長戦略が描きづらい。具体的には次に求められるのは何か？を模索してきました。それは他が真似できない新しいアイデアで差別化を図ることだと考え、血管年齢測定器、最終糖化産物測定機、体組成計など、健康測定のための機械を薬局に置き、患者さんの話を伺いながら薬局スタッフが一緒に測定することで患者さんの健康をバックアップすることにしたのです。測定自体は利益に直結しないのですが、サービスの一環として始めました。

しかし、この機械の購入費は数百万円。患者さんのニーズに合わせて、2年に1回ほど新機種の導入が必要となる。増えていく機械をどのように有効活用していくべきか。それが、次の課題となりました。

それまでは測った結果の数値を、利用者にお伝えするだけでした。そこで、6種類の測定機器の数値を集めてデータベース化し活用することを考えたのです。さらにデータをスマホで見られるアプリの開発へと進めました。利用者自身が簡単に見られるサービスを構築したかったのです。

また、このサービスで特許を取得す



医薬分業から始まった調剤薬局の時代

—— 株式会社エフアンドエフの設立のきっかけは

大学卒業後、医薬品卸会社に入社して間もない昭和56年と58年に大幅な法改正がありました。国が国民の医療費削減のため、薬価の大幅（18・6%）な引き下げと診療報酬の改定を行ったのです。私の担当地区の医療関係者からも、薬価改定に対する不満の声がこちらから聞こえ、近い将来、調剤薬局が必要とされる時代が来ることを実感しました。そこで調剤薬局のことを勉強し、独立に向け動き出し、平成2年に会社を設立。第1号店となる調剤薬局を現在の栃木市にオープンしました。

その後、平成6〜7年の頃には厚労省が医薬分業を後押しするよう法改正を行い、一気に調剤薬局が開設されていく、という社会的な流れが進んだのです。費用をいただく形を勧めております。被保険者は健康を保つことができ、保険会社も保険の掛け金が下げられることで他社との差別化になり、弊社にも管理費が入る三者がWin・Winの関係になるわけです。この対応ができる薬局のネットワーク化を図ろうと思っています。

そのほか自治体にもこの健康チェックシステムの話を持ち込んでいます。地元足利市でも弊社の取組に興味を示して頂けました。今年実施されたあしかが春ウォークでは、ブリス出展のオフアアを頂き、当日は多くの方に健康チェックを体験して頂きました。今までも、各自治体は健康診断を市民に促してきましたが、病院で受診する健康診断はなかなか進んでいないようです。そこで、気軽に行ける薬局で健康チェックを行い、結果に問題がある方には健康診断の受診を促したり受診勧奨を行う、という流れを作りたいと思っています。

すなわち、この流れが低迷する健康診断の受診率の向上に繋がり、早期発見・早期治療により、市民の皆さんの健康維持に貢献する取り組みと考えております。

いくつかの血液検査をオプションとして加えていることも大きな特徴の一つです。一滴の血液で、がんのリスクをチェックすることができ、更に、アルツハイマーのリスクをチェックすることも可能になります。この検査で、がん・心疾患・アルツハイマーの可能性を早期に発見でき、早期受診へ導くことが可

能です。

また、データをご本人だけでなく家族がスマホで見ることができ、離れたところの親の「見守りサポート」もできます。スマホの位置情報から、必要な医療機関を紹介することも可能です。

このシステムは、『病気の予防・早期発見』を、今後どう行っていくべきか。その一つの形であると言えます。さらに、マイナンバーカードの保険証利用と健康チェックシステムの連動も想定しております。もちろん、お手元のお薬手帳の情報も入ります。昨年6月、厚労省にてプレゼンの機会を頂き、この取り組みはマイナンバーカードの普及促進に繋がるといって説明を致しました。

—— 全国的な展開になりそうです

最近、保険会社の方より、「御社の薬局は全国にないのですか？」と聞われています。保険会社で採用する場合、被保険者は日本中にいるので、全国にあることが必要なのです。これが薬局のネットワーク化を進める理由のひとつでもあります。

薬局の差別化になりますし、かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師として、患者さんと信頼関係の構築ができます。国は今、かかりつけ薬剤師を推奨していますが、それには患者さんからの同意書が必要です。測定機器を使った健康チェックが患者さんにとってメリットとなり、そして多くの患者さんにその薬局でかかりつけ薬剤師制度を利用して頂く。この流れを作っていきたいです。

そのためビジネスモデルを確立したいと思っています。

—— 地域の人々の健康を守るビジネスとして期待しております。本日はありがとうございました。ありがとうございました。

聞き手/松尾幸子

Profile

ふじかわ よしひろ / 1956年生まれ。佐野市出身。大学卒業後、地元医薬品卸会社に入社。1990年に独立し、株式会社エフアンドエフを設立。同年岩舟町に調剤薬局1号店を開業。現在グループ企業を含め51店舗展開。

会社概要

本社所在地 / 佐野市植上町1479-4
設立 / 平成2年1月20日
資本金 / 1億円
売上高 / 56億円(グループ全体)
事業所数 / 51店舗(グループ全体)
従業員数 / 271名(薬剤師157名)
※2022年9月現在



株式会社
F&F エフアンドエフ
フォワードアンドフューチャー
佐野市植上町1479-4
TEL 0283-21-1260



花・花薬局で

あなたの健康チェックをしてみませんか



血管年齢測定器
《メディカル・アナライザー》



最終糖化産物測定機
《AGEs センサ》



骨健康度測定機
《骨ウェーブ》



体組成計《InBody》



肌年齢計



もの忘れ相談



心電計付き血圧計

あなたの測定データを入力

薬局健康チェックプログラム

- ①測定情報・患者情報のデータベース化
- ②測定情報の分析・評価
- ③管理栄養士・薬剤師によるアドバイスの読み込み
- ④AIによるフィードバック

オーダーメイドの結果を

スマートフォン
(アプリ)で閲覧や印刷した用紙で提供



※上記のシステムは令和3年3月特許出願済

もっと
自分の体を
知ろう!

健康チェックで健康寿命を延ばそう!

株式会社エフアンドエフでは、自社の薬局に7種の健康測定器を設置、手軽にチェックが受けられます。
※健康チェックシステムのオプションで血液一滴からの腫瘍マーカー検査ができます。

ハーモニー薬局 館林市富士見町12-19 0276-55-4475	ハーモニー薬局 みどり店 みどり市笠懸町久宮164-13 0277-46-8900	さんまい橋薬局 太田市長手町52-5 0276-55-3930
花・花薬局 植上店 佐野市植上町1728-1 0283-27-0717	花・花薬局 浅沼店 佐野市浅沼町848-2 0283-27-2022	花・花薬局 高萩店 佐野市高萩町1332-11 0283-27-3144
花・花薬局 多田店 佐野市多田町555-2 0283-86-800	佐野調剤薬局 佐野市亀井町2607-1 0283-21-0034	花・花薬局 堀米南店 佐野市堀米町1661-1 0283-86-9191
花・花薬局 堀米北店 佐野市堀米町3972-12 0283-86-7720	メイプル薬局 足利市福富町2096-1 0284-72-4545	花・花薬局 グリーン※1 足利市通2丁目2644-1 0284-64-7801
花・花薬局 いちよう※2 足利市旭町772-22 0284-40-1080	花・花薬局 北茂呂店 佐野市北茂呂町10-6 0296-22-5353	花・花薬局 朝倉店 足利市朝倉町3-15-4 0284-64-7105
花・花薬局江川店(仮称) 足利市江川町 令和5年秋開局予定	は健康チェックルーム設置店	は設置予定店

※1 令和4年7月1日 グリーン薬局より名称変更
※2 令和4年7月1日 いちよう薬局より名称変更



14500030

株式会社エフアンドエフは、2021年12月8日付で、
一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)より、
プライバシーマーク付与事業者に認定されました。

F&F 株式会社
エフアンドエフ
フォワードアンドフューチャー

佐野市植上町1479-4
TEL 0283-21-1260

